

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		令和(元)年度
		動作語の語彙を増やすための指導
授業について	教科名等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input checked="" type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他( )
	単元・題材名	動作語の語彙を増やそう
	授業の目標	・動作語の語彙を増やす。
	学力の3要素	<input checked="" type="checkbox"/> 「知識及び技能」 <input checked="" type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」 <input type="checkbox"/> 「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない ( 1 )年 ( 1 )人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input checked="" type="checkbox"/> その他(発達障害)
	子供の困難さ	<input checked="" type="checkbox"/> 見ること <input type="checkbox"/> 聞くこと <input checked="" type="checkbox"/> 話すこと <input type="checkbox"/> 読むこと <input type="checkbox"/> 書くこと <input type="checkbox"/> 動くこと <input type="checkbox"/> コミュニケーションをすること <input type="checkbox"/> 気持ちを表現すること <input checked="" type="checkbox"/> 落ち着くこと・集中すること <input type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他 ・注視し続けることが難しく、カード形式の課題は遊びたい気持ちになってしまう。
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援( <input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援( <input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援( <input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) D実態把握支援( <input type="checkbox"/> D1実態把握支援) ・iPadの画面に注目することができたので、iPadを使用して指示の理解や集中の継続ができるようにしたい。
	使用した支援機器等教材の名称と画像	支援機器:iPad アプリケーション:写真 
授業展開	授業展開・支援の手立て	iPadを使用する以前は、「ご飯を食べる」「顔を洗う」などの動作を表した絵カードを使用して、動作語の学習に取り組んでいた。しかし、動作を表した絵カードへの興味が高まってきて好きなように遊びたくなってしまったことや、学習の進度に合わせてカードの枚数を増やしていくことに難しさを感じ、iPadを使用することにした。動詞のイラストは、インターネットからダウンロードしたものを、iPadのスクリーンショット機能を用いて一画面に一つのイラストが表示される画像に加工をした。 「写真」のアプリを使用して、動作を表したイラストの画像を一枚ずつ教師がiPadに表示させ、対象児が「牛乳を飲む。」などとそのイラストにあった言葉で答えていく形式で学習を進めている。
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	児童がiPadを触らないようにしたことで、集中して学習に取り組めるようになった。イラストを見て、「ごみを捨てる。」「お茶碗を運ぶ。」などと、答えることができるようになった。児童が答えに困った際、一部分を拡大して見せることで、簡単にヒントを出すことができた。簡単にイラストの順番を入れ替えたり、数を調整したりできるので、個別課題学習の準備の時間が大いに短縮した。